

活動スキル



A1
記録と編集
レベル 1・2・3

活動スキル



A2
PCの操作
レベル 1・2・3

活動スキル



A3
ウェブ検索
レベル 1・2・3

活動スキル



A4
図書利用
レベル 1・2・3

活動スキル



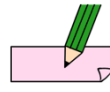
A5
インタビュー
レベル 1・2・3

活動スキル



A6
アンケート
レベル 1・2・3

活動スキル



A7
メモ
レベル 1・2・3

活動スキル



A8
口頭発表
レベル 1・2・3

探究スキル



B1
取捨選択
レベル 1・2・3

探究スキル



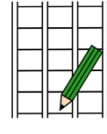
B2
読み取り
レベル 1・2・3

探究スキル



B3
創造
レベル 1・2・3

探究スキル



B4
伝達内容の構成
レベル 1・2・3

探究スキル



B5
表現の工夫
レベル 1・2・3

探究スキル



B6
受け手の意識
レベル 1・2・3

探究スキル



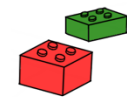
B7
学習計画
レベル 1・2・3

探究スキル



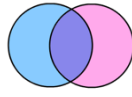
B8
評価と改善
レベル 1・2・3

プログラミング



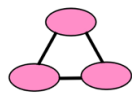
C1
物事の分解
レベル 1・2・3

プログラミング



C2
情報の分類
レベル 1・2・3

プログラミング



C3
情報の関連付け
レベル 1・2・3

プログラミング



C4
問題解決の手順
レベル 1・2・3

プログラミング



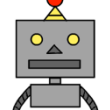
C5
試行錯誤
レベル 1・2・3

プログラミング



C6
データの傾向
レベル 1・2・3

プログラミング



C7
情報技術の将来
レベル 1・2・3

プログラミング

情報モラル



D1
コミュニケーション
レベル 1・2・3

情報モラル



D2
法と権利
レベル 1・2・3

情報モラル



D3
健康と安全
レベル 1・2・3

情報モラル



D4
ルール・マナー
レベル 1・2・3

情報モラル



D5
セキュリティ
レベル 1・2・3

情報モラル



D6
個人情報
レベル 1・2・3

情報モラル



D7
情報社会の将来
レベル 1・2・3

情報モラル

<p>A4：図書利用</p> <p>L3:図書・新聞データベースを活用して必要な本や記事を見付けられる</p> <p>L2:目次や索引を活用して情報を見付けられる</p>	<p>A3：ウェブ検索</p> <p>L3:AND, OR など条件を工夫して検索できる</p> <p>L2:サイトの構造を理解して情報を見付けられる</p>	<p>A2：PCの操作</p> <p>L3:クラウド等を用いた協働作業のためにコンピュータを活用できる</p> <p>L2:ファイルの管理ができる</p>	<p>A1：撮影と編集</p> <p>L3:目的や情報の種類に応じてアプリケーションを選択、活用できる</p> <p>L2:写真や映像、音声の加工・編集ができる</p>
<p>A8：口頭発表</p> <p>L3:(資料を活用しながら)聴衆とのやりとりなどの伝え方を工夫する</p> <p>L2:(資料を効果的に示しながら)身振りや声の抑揚など伝え方を工夫する</p>	<p>A7：メモ</p> <p>L3:書く場所や矢印・強調などで工夫する</p> <p>L2:箇条書き・単語でポイントをまとめる</p>	<p>A6：アンケート</p> <p>L3:集計・分析できるように適切な設問文や選択肢を作成できる</p> <p>L2:目的にあった質問の形式や内容を考えられる</p>	<p>A5：インタビュー</p> <p>L3:インタビューの考えを引き出すために追加の質問ができる</p> <p>L2:下調べをしてインタビューすべき質問を選ぶことができる</p>
<p>B4：伝達内容の構成</p> <p>L3:アウトライン(目次)をつくり、内容を構成することができる</p> <p>L2:相手を説得するために論理を組み立てられる</p>	<p>B3：創造</p> <p>L3:情報を多面的に見て新たなアイデアを見いだす</p> <p>L2:情報を組み合わせることで新たな意味を見出す</p>	<p>B2：読み取り</p> <p>L3:複数情報から矛盾点や欠けている情報を見付けられる</p> <p>L2:複数情報から共通・相違・矛盾点を見付けられる</p>	<p>B1：取捨選択</p> <p>L3:信頼性や信ぴょう性を考えて情報を選ぶことができる</p> <p>L2:選んだ根拠を説明することができる</p>
<p>B8：評価と改善</p> <p>L3:振り返りをもとに改善策を立てられる</p> <p>L2:振り返りを基に次にやってみたいことを考えられる</p>	<p>B7：学習計画</p> <p>L3:グループ内で役割分担を考えて計画を立てることができる</p> <p>L2:自分で計画を立てることができる</p>	<p>B6：受け手の意識</p> <p>L3:相手の関心や前提知識に配慮して伝え方や内容を工夫できる</p> <p>L2:相手の反応をみて伝え方や内容を工夫する</p>	<p>B5：表現の工夫</p> <p>L3:メディアを組み合わせることで表現を工夫できる</p> <p>L2:伝えたいことに応じて表現を工夫できる</p>
<p>C4：問題解決の手順</p> <p>L3:問題解決の手続きをアクティビティ図等を用いてモデル化できる</p> <p>L2:問題解決の手続きを順序・繰り返し・分岐などを組み合わせて表現できる</p>	<p>C3：情報の関連付け</p> <p>L3:情報の規則性、順序性、一般性を図やプログラムで表現できる</p> <p>L2:情報と情報の関係を図やプログラムで表現できる</p>	<p>C2：情報の分類</p> <p>L3:情報の属性を意識して構造的に捉えることができる</p> <p>L2:観点を考えて情報を分類できる</p>	<p>C1：物事の分解</p> <p>L3:物事の全体をシステム(部品の関係)で捉えることができる</p> <p>L2:部品を組み合わせることで物事を表現できる</p>
<p>C7：情報技術の将来</p> <p>L3:新しい情報技術が社会や産業にどう活用されているか説明できる</p> <p>L2:新しい情報技術にどう関わるか説明できる</p>	<p>C6：データの傾向</p> <p>L3:表やグラフを用いてデータを統計的に処理することができる</p> <p>L2:データの変化をとらえて説明できる</p>	<p>C5：試行錯誤</p> <p>L3:条件を切り分け、解決方法を論理的に考えて取り組む(デバッグ)</p> <p>L2:試作やシミュレーションを通して問題解決の方向性や改善策を見出す</p>	
<p>D4：ルール・マナー</p> <p>L3:ルールやマナーを創造・遵守することで問題を解決しようとする</p> <p>L2:ルールやマナーを相手と一緒に作る</p>	<p>D3：健康と安全</p> <p>L3:健康に配慮して情報機器・サービスを活用することができる</p> <p>L2:情報機器を使う場所や時間を自分で管理できる</p>	<p>D2：法と権利</p> <p>L3:情報の保護や取り扱いに関する法律を理解する</p> <p>L2:著作権や肖像権に留意して情報を扱う</p>	<p>D1：コミュニケーション</p> <p>L3:ネットワークの公共性を意識して行動する</p> <p>L2:発信する情報に責任を持つ</p>
<p>D7：情報社会の将来</p> <p>L3:情報社会がどうあるべきか説明できる</p> <p>L2:情報社会の中でどう生きていくか説明できる</p>	<p>D6：個人情報</p> <p>L3:自他の情報を相手や範囲を考慮して管理する</p> <p>L2:自他の情報が伝わる範囲を考慮して行動する</p>	<p>D5：セキュリティ</p> <p>L3:サイバーセキュリティの重要性を理解する</p> <p>L2:なりすましやウィルスなどの危険を理解する</p>	